

福祉あがの

令和4年7月15日発行

発行：社会福祉法人
阿賀野市社会福祉協議会

頑張りました!!



ボランティア体験学習

※撮影時のみ、マスクを外しました。



阿賀野市社会福祉協議会では、市内の小中学校・高等学校で行われる福祉に関する学習支援として「ボランティア体験学習」を行っています。

6月17日(金)、分田小学校4年生を対象に高齢者疑似体験を実施しました。

器具を装着すると視界が狭くなって見えにくかったり、声が聞こえづらくなる等の体の変化を体験。また、軍手をして指の感覚を変化させたところで、新聞紙をめくることに挑戦したり、ペットボトルのキャップを開ける体験をしました。

スムーズにいかない児童に「代わりに開けてあげるよ!」と声をかけてサポートする姿がとてもよかったです。



令和4年度 阿賀野市社会福祉協議会事業計画・収支予算

事業計画

基本理念

市民の主体的参加と協働により「お互いさま」といえる「共に生き共につくる福祉社会を目指すまちづくり」を推進します。

基本方針

国が進める地域共生社会とは、「地域に暮らすすべての人びとがそれぞれに役割をもちながらともに支え合い、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会」とされています。

この地域共生社会では、地域力の強化と包括的な支援体制の整備が不可欠となっておりますが、これは専門職による伴走支援だけでなく、より身近な地域における住民同士の日頃の見守りが、社会との継続的なつながりになると言われています。

新型コロナウイルス感染リスクはゼロにならないことを前提（コロナとともに生きていく）に、「感染防止」と「社会福祉活動維持」の両立を目指すことを基本的な考え方とし、「新しい生活様式」の中で新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮した地域住民等による福祉活動・ボランティア活動の推進を図ります。

令和4年度は、児童発達支援センター開設を目指し、地域連携、地域ネットワークの中核機関として関係機関等と連携を図りながら重層的に支援を行い、地域連携体制の構築に取り組んでまいります。

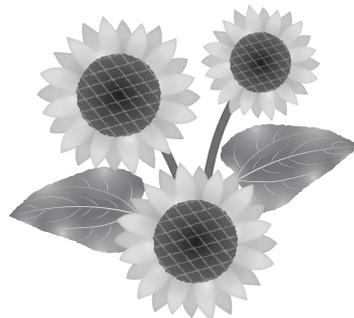
日常生活自立支援事業等により地域の権利擁護支援を必要とする人の相談支援を行うとともに成年後見制度での法人後見にも取り組んでいきます。

また、社協の事業の経営環境や状況が年々厳しさを増すなか、自主事業である介護・障害福祉サービスを経営する意義を確認しながら、経営基盤の強化も求められています。

これらから、地域共生社会の実現にむけて「協働の中核」を担う存在になれるよう、社協の総合力の向上と組織・事業基盤の強化にむけて努めてまいります。

重点事項

1. 住民主体による参加型の地域福祉サービスのシステム構築
2. 広く関係機関との連携を図り、生活困窮者への包括的・継続的な支援強化
3. ボランティア活動の活性化と人材育成
4. 介護保険サービス、障害福祉サービスの充実
 - (1) 児童発達支援センターの開設
5. 阿賀野市指定管理者制度事業の推進
 - (1) 阿賀野市デイサービスセンター5か所
 - (2) 保健福祉センター「京和荘」(複合型施設)
6. 成年後見制度事業の実施(法人後見事業)



収支予算

科 目		予 算 (円)	科 目		予 算 (円)
収 入	会費収入	4,392,000	支 出	人件費支出	400,884,000
	寄付金収入	50,000		事業費支出	89,543,000
	経常経費補助金収入	73,926,000		事務費支出	46,355,000
	受託金収入	37,317,000		就労支援事業費支出	3,829,000
	貸付事業収入	500,000		貸付事業支出	500,000
	事業収入	659,000		助成金支出	553,000
	介護保険事業収入	325,484,000		ファイナンス・リース債務の返済支出	686,000
	就労支援事業収入	3,829,000		積立資産支出	1,000
	障害福祉サービス等事業収入	104,054,000		その他の活動による支出	16,701,000
	その他の事業収入	36,000		予備費支出	80,000
	受取利息配当金収入	12,000			
	その他の収入	187,000			
	収入合計	550,446,000		支出合計	559,132,000
		当期資金収支差額	△ 8,686,000		

令和3年度 阿賀野市社会福祉協議会 事業報告

<法人運営事業サービス区分>

- 会務の運営
理事会（5回）、評議員会（4回）、監事会（4回）、訪問監査（4回）、正副会長会議（5回）、の開催
- 福祉関係者の顕彰
阿賀野市社会福祉協議会会長表彰（14名、2団体）
- 役職員の研修
役員研修（2回）、職員研修（24回、34名参加）
自主研修（0回）
- 自主財源の造成
一般会員 9,242世帯（67.2%）
特別会員 6団体/14口・7施設/8口・37法人/53口
賛助会員 125個人/125口
- 行政機関・関係福祉団体との連絡調整
阿賀野市地域福祉計画並びに地域福祉活動計画を踏まえ「共に生き共につくる福祉社会」の実現のため所轄庁、関係機関、団体の主催する各種委員会・協議会等に出席するなど多職種との連携、連絡協議に努めた。
- 外郭団体への支援
阿賀野市老人クラブ連合会・阿賀野市身体障害者福祉協議会・阿賀野市手をつなぐ育成会・阿賀野市連合遺族会の活動支援
- くらしを守る住民活動の推進（虚礼廃止運動推進事業）
無料礼状ハガキの活用（活用户19名、活用枚数419枚）
- 啓発活動の強化
第71回新潟県民福祉大会の参加
社協だより「福祉あがの」の発行、社協広報事業（ホームページ）の実施
- 共同募金活動の強化
実績額 8,741,964円（達成率92.1%）
- 「地域の集いの場」サロン活動の推進
高齢者や子育て家庭を対象とするサロン事業の支援
- 災害救援活動の支援
新発田青年会議所との災害時相互協力協定の継続
阿賀野市との災害ボランティアセンターの設置、運営に関する協定の継続
阿賀野市ライオンズクラブとの災害ボランティアセンター支援に関する協定の締結

<配食サービス事業サービス区分>

配食サービス事業
（利用者：131名、食数：4,286食 1回平均配食数：安田地区32食 京ヶ瀬6食、水原31食、笹神25食）
おせち料理サービス事業（12/30 96食）

<生活福祉資金サービス区分>

福祉資金
福祉費
（前年度末9件、新規0件、償還完了0件、貸付中9件）
緊急小口資金
（前年度末0件、新規0件、償還完了0件、貸付中0件）
教育支援資金
（前年度末12件、新規1件、償還完了1件、貸付中12件）
離職者支援資金
（前年度末5件、新規0件、償還完了1件、貸付中4件）
長期生活支援資金
（前年度末0件、新規0件、償還完了0件、貸付中0件）
総合支援資金
生活支援費
（前年度末10件、新規0件、償還完了1件、貸付中9件）
一時生活再建費
（前年度末2件、新規0件、償還完了0件、貸付中2件）
特別貸付
緊急小口資金（相談114件、申込40件、決定38件）
総合支援資金（相談78件、申込20件、決定20件）

<小口資金貸付事業サービス区分>

前年度末貸付件数4件、新規申込0件、償還完了2件、貸付中2件、償還免除0件

<生活困窮者自立支援事業サービス区分>

相談支援、支援調整会議の開催、内部研修の開催など（相談受付件数79件）

<福祉サービス利用支援事業区分>

日常生活自立支援事業の実施（利用者 6名）

<法人後見事業区分>

法人後見事業の実地（利用者 0名）

<ボランティアセンターサービス区分>

ボランティアセンターの開設
ボランティア活動の支援（登録ボランティア 個人683名、70グループ1,154名）

<通所介護事業拠点区分>

デイサービスセンター「むすびの里」（延べ利用者 3,581名）
デイサービスセンター「第二むすびの里」（延べ利用者 8,378名）
デイサービスセンター「第二永寿園」（延べ利用者 5,211名）
デイサービスセンター「第二わかばの里」（延べ利用者 8,723名）
デイサービスセンター「おおむろの丘」（延べ利用者 4,303名）
※基準該当障害者福祉サービス生活介護
デイサービスセンター「むすびの里」（延べ利用者 0名）
デイサービスセンター「第二わかばの里」（延べ利用者 39名）

<居宅介護支援サービス区分>

阿賀野市社協ケアセンター「ぬくもり」（延べ利用者 1,464名）

<訪問介護サービス区分>

阿賀野市社協ヘルパーステーション「ぬくもり」（実利用者 320名）
※保険外サービス（利用者 14名）

<障害者居宅介護サービス区分>

自立支援
身体障害者（実利用者 79名）、知的障害者（実利用者 44名）、精神障害者（実利用者 48名）
地域生活支援（実利用者 39名）

<こどものことばとこころの相談室サービス区分>

通所支援（延べ利用者 3,650名）
相談支援（計画相談 239名、モニタリング 183名）

<さくらの会作業所サービス区分>

就労継続支援B型事業の経営（延べ利用者 3,860名）、利用者が個々の能力を伸ばせるよう働く場の提供（自主製品販売活動、外注加工事業、第二わかばの里や相談室の掃除、若葉町草刈りなど）

<地域活動支援事業サービス区分>

地域で暮らす障がいのある方の余暇活動を楽しむ憩いの場の提供（延べ利用者 1,536名）

<京和荘サービス区分>

老人福祉センター（延べ利用者 2,613名）
生きがいセンター（延べ利用者 103名）
公民館（延べ利用者 24,854名）

令和3年度 阿賀野市社会福祉協議会財産目録

【財産目録】

令和4年3月31日現在 (単位:円)

資産・負債の内訳	金額
1、資産の部	
流動資産	
現金預金	168,467,231
事業未収金	61,691,390
未収補助金	511,800
貯蔵品	153,642
原材料	203,971
立替金	907,650
前払金	1,011,518
仮払金	12,050
流動資産計	232,959,252
固定資産	
基本財産	
建物	2
定期預金	4,000,000
基本財産計	4,000,002
その他の固定資産	
建物	5,769,418
構築物	404,060
車輛運搬具	5,155,096
器具及び備品	1,413,836
有形リース資産	3,276,966
長期貸付金	50,000
退職手当積立金預け金	272,864,920
修繕費積立資産	800,000
備品等購入積立資産	500,000
工賃変動積立資金	500,000
設備等整備積立資産	1,000,000
事業運営安定資金積立資産	50,066,134
預託金	104,770
その他の固定資産計	341,905,200
固定資産計	345,905,202
資産合計	578,864,454

資産・負債の内訳	金額
2、負債の部	
流動負債	
事業未払金	21,391,740
1年以内返済リース債務	685,080
未払費用	11,388,858
預り金	343,243
職員預り金	4,725,170
流動負債計	38,534,091
固定負債	
リース債務	3,025,770
退職給付引当金	327,098,700
固定負債計	330,124,470
負債合計	368,658,561
差引純資産	210,205,893



【貸借対照表】

令和4年3月31日現在 (単位:円)

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
401 流動資産	232,959,252	263,607,545	△ 30,648,293	411 流動負債	38,534,091	41,709,165	△ 3,175,074
402 固定資産	345,905,202	355,256,011	△ 9,350,809	412 固定負債	330,124,470	338,876,730	△ 8,752,260
				負債の部合計	368,658,561	380,585,895	△11,927,334
				純資産の部			
001 基本財産	4,000,002	4,000,010	△8	413 基本金	4,000,000	4,000,000	0
				414 基金	0	0	0
				415 国庫補助金等特別積立金	5,459,395	6,630,246	△ 1,170,851
002 その他の固定資産	341,905,200	351,256,001	△ 9,350,801	416 その他の積立金	55,115,248	55,114,249	999
				417 次期繰越活動増減差額	145,631,250	172,533,166	△26,901,916
資産の部合計	578,864,454	618,863,556	△39,999,102	純資産の部合計	210,205,893	238,277,661	△28,071,768
				負債及び純資産の部合計	578,864,454	618,863,556	△39,999,102

※阿賀野市社会福祉協議会ホームページをご覧ください。



令和3年度阿賀野市社会福祉協議会 赤い羽根共同募金助成事業報告



阿賀野市社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金より令和3年度の地域福祉推進事業費として5,328,696円の助成を受けましたので、その用途についてご報告いたします。

【高齢者福祉活動費 2,596,000円】

- ふれあい昼食会……………68,000円
- 配食サービス事業等…………… 2,528,000円



ふれあい昼食会



配食サービス

【児童・青少年健全育成事業費 100,000円】

- ボランティア体験学習支援事業費… 100,000円



視覚障がい者の暮らしについて



高齢者疑似体験

【住民全般福祉活動費 2,632,696円】

- ボランティア活動支援事業…………… 250,000円
- 社協機関紙発行事業…………… 315,000円

- 行旅人旅費支援事業…………… 7,000円
- 地域ささえ愛事業…………… 608,000円
- おうちごはんプロジェクト…………… 126,000円
- 県民福祉大会研修事業…………… 58,000円
- ボランティア通信発行事業…………… 761,696円
- サロン活動推進事業…………… 343,000円
- 災害対策事業…………… 164,000円

令和4年度福祉有償運送運転者講習会 セダン等運転者講習会を実施しました



令和4年6月18日(土)に令和4年度福祉有償運送運転者講習会／セダン等運転者講習会の講義をオンラインで行い、翌日6月19日(日)には一部の受講者を対象に実技演習を実施しました。令和2年度に開催する予定でしたが新型コロナウイルス感染症拡大により中止となり、4年ぶりの開催となりました。これまでは、一つの会場に集まり対面式で実施していましたが、今回は感染予防対策として講義はオンライン、実技演習は原則各事業所・団体に実施していただきました。多くの方々のご理解とご協力により無事に終わることができた今回の開催方法を踏まえ、これからの講習会や研修会も安心して参加いただけるよう開催したいと思います。



赤い羽根共同募金 感謝状贈呈式・助成金目録交付式



阿賀野市共同募金委員会では、去る6月16日(木)に水原保健センターにおいて「赤い羽根共同募金感謝状贈呈式・助成金目録交付式」を開催しました。

共同募金運動推進のため毎年継続して積極的に協力され、その功績が顕著な11法人へ感謝状が贈られました。

また、昨年10月から12月の募金運動期間に皆さまよりお寄せいただいた募金から、令和4年度に阿賀野市内で実施される社会福祉の向上を目的とする事業助成として、社会福祉協議会、自治会、福祉活動団体、学校へ助成金目録が交付されたのち、助成団体を代表して手話サークルあじさい会の佐藤会長より謝辞をいただきました。

募金に協力し応援してくださる方、募金助成で福祉活動する方が互いに共同募金への理解を深める機会となりました。

感謝状贈呈企業 (順不同)

阿賀野川生コン株式会社様
 有限会社 富士建材様
 有限会社 遠山商店様
 株式会社 G O R Y O様
 株式会社 樋口工業様
 藤岡染工場様
 御菓子司 最上屋様
 株式会社 佐藤電機商会様
 株式会社 若月商店様
 酒田屋様
 有限会社 市村自動車様



後列左より 酒田屋様、佐藤電機商会様、最上屋様、藤岡染工場様、若月商店様、市村自動車様
 前列左より 遠山商店様、副会長(社協会長)、会長(市長)、阿賀野川生コン様、樋口工業様

<令和3年度共同募金による令和4年度事業費助成団体> (敬称略)

助成種別	助成先	事業名	助成額
広域助成	社会福祉法人すみれ会 かつむりこども園	社会福祉施設整備助成(送迎車両の購入)	2,000,000円
地域助成	社会福祉法人阿賀野市社会福祉協議会	配食サービス事業等14事業	5,753,279円
	緑町自治会	緑町子ども太鼓事業	49,000円
	阿賀野市民生委員児童委員協議会	民生委員児童委員活動事業	494,900円
	傾聴ボランティア ハートピアあがの	心の健康自立支援(傾聴)事業	49,000円
	阿賀野市老人クラブ連合会	高齢者声かけ運動事業	49,000円
	阿賀野市手話サークルあじさい会	手話の理解を深めるための講演会事業	49,000円
	阿賀野市立安田中学校	社会福祉研究普及事業	46,000円
	阿賀野市立京ヶ瀬中学校	コスモスロード・門松贈呈事業	49,000円
	阿賀野市立水原中学校	地域貢献活動ボランティア事業	49,000円
	阿賀野市立笹神中学校	「はぐろの里」交流活動事業	49,000円
	阿賀野市立安田小学校	地域福祉推進事業	49,000円
	阿賀野市立京ヶ瀬小学校	福祉体験交流活動事業	46,000円
	阿賀野市立分田小学校	地域クリーンアップ大作戦事業	39,000円
	阿賀野市立堀越小学校	社会福祉活動事業	49,000円
	阿賀野市立水原小学校	白鳥パトロール隊活動事業	49,000円
	阿賀野市立安野小学校	児童健全育成事業	49,000円
	阿賀野市立神山小学校	福祉教育交流活動事業	37,000円
	阿賀野市立笹岡小学校	社会福祉研究普及事業	39,000円
	18団体(校)	31事業	6,994,179円



ひとりひとりが福祉のサポーター 令和4年度社協会員(会費)にご協力をお願いします。

阿賀野市社協は、『市民の主体的参加と協働により「お互いさま」といえる「共に生き共につくる福祉社会を目指すまちづくり』を基本理念とし活動しています。

皆さまからお寄せいただく会費は、“ふだんのくらしをしあわせに”するための地域の福祉活動事業に活用しています。福祉はなんとなく大切とわかるけど、自分は何をしりたいのだろうか？と思うことはありませんか？

直接、福祉活動を行わなくても、社協会員として会費を納めていただくことで、さまざまな地域の福祉活動に、間接的に参加することができます。

ぜひ、社協会員になってコロナ禍で変化する地域課題や地域福祉の向上に取り組む活動へのご理解とご協力をお願いします。

※自治会長様へは、8月1日付の文書にて改めて会費の取りまとめについてお願いする予定です。

※会員に加入することや会費の金額については、決して強制ではなく任意です。

● 社協会員(会費)の種類 ●

一般会員 一世帯 500円	賛助会員(役員・篤志家) 一口 1,000円	特別会員(法人事業所・団体・福祉施設) 一口 3,000円
------------------	---------------------------	----------------------------------

令和3年度社協会費の実績と使い道のお知らせ

会費実績 **4,267,160円**

一般会費	9,242世帯	3,917,160円
賛助会費	125個人	125,000円
特別会費	福祉団体 6団体 福祉施設 7施設 法人 37法人	225,000円

主な会費の使い道として

- いきいきサロン推進事業
高齢者や子育て世代の閉じこもりの防止や仲間づくり、生きがいづくりのための活動の支援
- 社会福祉事業功労者表彰式
市内の福祉事業における功労者の表彰
- 地域活動車輛維持費
貸出用マイクロバスの車検代・保険料・整備費等
- 社協機関紙「福祉あがの」発行事業
ホームページ管理運営更新料含む
ホームページアドレス<http://www.agano.net/shakyo/>
- 法人運営費
市社協運営のための人件費以外の事務費と事業費

こどものことばとこころの相談室にて、児童発達支援センターがスタートしました。

児童発達支援センター(児童発達支援)

放課後等デイサービス

保育所等訪問支援

地域に根ざした

専門的な支援

関係機関との連携

地域支援

家族支援

この度、令和4年5月1日より、新潟県より指定をいただき、地域における中核的な支援施設として、こどものことばとこころの相談室にて「児童発達支援センター」事業を実施することになりました。

以前より支援の柱として大切にしてきた、「早期支援」「継続的で一貫した支援」はもとより、地域の療育支援・発達支援を担う中核的機関として、地域の方々や支援関係者の方々からご協力をいただきながら、困り感を抱えるお子さん、そして日々子育てに奮闘するご家族を支援していける機関を目指していきたいと思っております。

なお、令和4年8月6日(土)に児童発達支援センター開設記念講演会を予定しております。

職 員 募 集

詳細は、お気軽にお問い合わせください。

【問い合わせ先】 阿賀野市社会福祉協議会（担当：阿部・神田）
電話 67-9203

増員 & 産休代替

療育指導員
（臨時職員 各1名）

【勤務地】
こどものことばとこころの相談室
【業 務】
児童発達支援、放課後等デイサービス
【勤務日】
勤務予定表により1日8時間
【賃 金】176,000円
通勤手当、処遇改善手当支給、
社会保険、雇用保険加入

【必要な資格】
保育士又は幼稚園教諭、社会福祉士、
精神保健福祉士、もしくは児童福祉施設
で3年以上実務経験がある方で65歳
未満の方



社会福祉法人 阿賀野市社会福祉協議会 苦情解決第三者委員について

1名欠員となっておりますが、この度補欠選任
されましたのでご紹介いたします。

（敬称略）

氏 名	役 職	地 区
田代 健一	社会福祉に理解のある学識経験者（大学教授）	京ヶ瀬地区



相談窓口のご案内

生活に関する困りごとや悩み事…
ひとりで悩んだり抱えたりせず、ご相談ください。

仕事や生活のことで お困りの方

『悩みがあるけど相談する人がいない…』などの困り
ごとを相談員がお伺いし、解決に向けたサポートを
行っていきます。

【相談内容の例】

- 収入が不安定で、生活費のやりくりに困っている
 - 借金が多くて返済ができずに困っている
 - 困っているが、どこに相談していいのかわからない
- 相談は無料です。秘密は守られますのでご安心くだ
さい。

【相談窓口】

阿賀野市社会福祉協議会
暮らしサポートセンターあがの
電話 67-9500
※受付時間 月～金 8:30～17:30
メール kurasapo-agano@zb.wakwak.com

二次元コードを読み取ると
メール画面に移動します。



新型コロナウイルス感染症の 影響で収入の減少がある方

✿ 緊急小口資金（特例貸付） ✿

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等
による収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持の
ための貸付を必要とする世帯に行きます。

【対 象】 **阿賀野市在住**の方で、新型コロナウイ
ルス感染症の影響による収入減少等がある
世帯

【貸付上限額】 10万円以内（個人事業主や4人以上世帯
等の特例20万円以内）

【措置期間】 令和5年12月まで

【償還期間】 2年以内

【貸付利子】 無利子

申請期限
令和4年
8月末まで

※失業された方向けの貸付制度（総合支援資金）もあ
ります。**貸付を希望される場合は、事前にお電
話にてご連絡をお願いします。**

【相談窓口】

阿賀野市社会福祉協議会 電話 67-9203

この機関紙は社会福祉協議会会費
並びに赤い羽根共同募金助成金で
発行しています。

発行 〒959-2123 新潟県阿賀野市姥ヶ橋669（阿賀野市役所京ヶ瀬支所内）

社会福祉法人 阿賀野市社会福祉協議会
TEL 0250-67-9203 FAX 0250-67-9204

福祉あがのは、ボランティアグループ「うぐいす会」により音声訳されています。